



アップサイクルの事例などを話す中村社長

循環型ビジネス 新たな形を学ぶ

松山でセミナー

リサイクルで元の製品よりも価値が高いものを生み出す「アップサイクル」をテーマにしたセミナーが15日、松山市久米窪田町のテ

クノプラザ愛媛であった。市民ら約60人が講演を通じ、新たな循環型社会ビジネスモデルの形成について理解を深めた。

セミナーは、県資源循環優良モデル(スゴeco)の認定事業者でつくる県資源循環優良事業者連絡協議会が県と連携して開いた。

エコビジネスのコンサルティングを手掛ける「ア・ソッカ」(兵庫県)の中村信夫社長とアップサイクルに取り組む山陽製紙(大阪府)の原田千秋専務が講演

した。

中村社長は「アップサイクルビジネスを創出するには価値を再発見することが必要だ」と強調。新たな価値を見つげるため「常識や思い込みを疑い、視点を変えてほしい」と呼び掛けた。

原田専務は不用となったコピー用紙を回収し、封筒やノートなどのオフィス用品にして返すアップサイクルの事例を紹介した。

(渡部竜太郎)